

自助・共助の意識を高めるために・・・

防災訓練に参加しましょう

お問い合わせは
総合防災課
☎483-1151(代表)へ

今年には阪神・淡路大震災から20年という節目を迎えました。当時の教訓を忘れないためにも、防災訓練に参加して、住民一人ひとりが災害に立ち向かう「自助」、自分たちの地域は自分たちで守るという「共助」の意識を高め、防災・減災に取り組んでください。

自助・共助の意識を高めよう

「自助」とは自分の命は自分で守ること、「共助」とは、自分たちの地域は自分たちで守ることです。そして「公助」とは、国や県、市など公の機関による支援活動です。阪神・淡路大震災では、倒れた建物の下敷きになったり閉じ込められたりした人のうち、9割以上が「自助」、「共助」によって救出されています。「公助」による助けには時間がかかります。自治体の救助隊に助けられたのは、わずか1.7パーセント。まずは自分の命を守り、次に地域で被災した人を助けられれば、被害を大きく減らせます。一分一秒を争う救出が必要な時だからこそ共助が重要なのです。

まずは自助！！

災害への備えとして、まずは自分の身を守る「自助」が最優先です。自分が無事でなければ家族や地域を守れません。次のような3つの「自助」を確認しましょう。

■家具や家電の固定

阪神・淡路大震災では、亡くなった6,434人のうち、8割以上の人が倒れた家具や建物により圧死・窒息死したと言われています。また、負傷者4万3,000人のうち多くの人が家具やガラスの破片でけがをしています。

次の項目は要チェックです。

- 金具やつっぱりポールで家具を固定する
- 上下2段に分かれている家具は連結する
- キャスターはしっかり固定
- ガラスに飛散防止フィルムを貼る
- 揺れで戸棚などの扉が開かないようにひもやちょうつがい等で留める
- 吊り照明は揺れないように固定する

■1人7日分の食料備蓄

大災害直後は、水や食料はすぐに手に入りません。家庭や事業所では、家族、従業員のために、1週間程度の食料、飲料水など必要な物資を備えてください。本市では、想定避難者数約4万9,000人(東京湾北部地震想定)を考慮した備蓄計画を策定し、最低限必要な物資の計画的な整備に努めています。なお、備蓄物資のうち、賞味期限間近な食料については、総合防災訓練の炊き出し訓練で使うなど有効活用しています。

■徒歩で帰宅するルートを事前に確認

学校や勤務先、通勤途中で地震が起こることも想定してください。まずは、むやみに帰ろうと

せず、交通や被害の情報を入手し、職場や学校にとどまるなど、適切な行動を心掛けましょう。状況が落ち着いて徒歩で帰るときは、下記表示のある災害時帰宅支援ステーションで、水、トイレなどの支援を受けられます。帰路や支援ステーションの場所を確認しておきましょう。



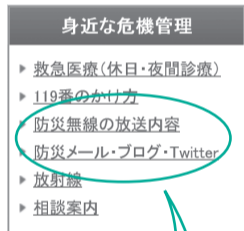
災害時の防災情報



市では防災無線をはじめ、ホームページや、やちよ情報メール、ツイッターなどの方法で防災や緊急時の情報をお知らせしています。

■市ホームページ

市ホームページのトップページ右側「身近な危機管理」から、「防災無線の放送内容」、「防災メール・ブログ・Twitter」で最新の内容や配信履歴を確認できます。災害に対する心構えや防災マップなども紹介しています。「くらしの情報」→「防災」でご確認ください。※震度5強以上の地震が発生した場合は、しばらくの間ホームページのデザインが変わります。イラストや写真のないテキストデータだけでお知らせします。



ここをクリック

■お願い

防災無線により毎日午後5時にチャイム放送を行っています。普段聞こえていないチャイムが聞き取りづらい、聞こえないなどの不具合がありましたら総合防災課まで連絡をお願いします。

■やちよ情報メール(事前登録が必要です)

防災・防犯・環境・火災などの情報を、予め登録したメールアドレスへメールで配信します。防災無線で放送した内容も確認できます。左記QRコードを携帯電話のカメラ(バーコードリーダー)で読み取るか、yachiyo@sg-m.jpへ空メールを送って登録してください。



■防災ブログ

緊急情報のほか、防災のイベントや豆知識なども公開しています。パソコンや携帯電話などで見られます。

■Twitter(ツイッター)

防災・緊急情報などを発信。パソコンや携帯電話などで見られます。原則、フォローや返信は行いません。https://mobile.twitter.com/yachiyo_shi

■自動電話応答サービス

防災無線で放送した最新の内容を、電話で確認できます。通話料は無料です。☎0120-970-911

「八千代インターナショナルデー」を9月6日(日)に開催

市内在住の外国人と市民の交流を図ります。ブラジル、ペルー人によるバンド演奏、アメリカのカントリーミュージック、日本の和太鼓など世界各国の舞台パフォーマンス、パネル展示が予定されています。

▼日時 9月6日(日)正午～午後3時30分 ▼場所 フルルガーデン八千代 ▼問い合わせ 八千代市国際交流協会事務局 ☎(75)05993 (国際推進室)

清掃センター焼却炉のダイオキシソ類測定結果は基準値以下

清掃センター焼却炉のダイオキシソ類の測定結果は次のとおりで、国の基準値を下回りました。

測定日	測定結果	基準値
1号炉排ガス 5月26日	0.043ナノグラム	5ナノグラム
1号炉排ガス 5月26日	0.043ナノグラム	5ナノグラム

1 ナノグラムは10億分の1グラム。お問い合わせは清掃センター ☎(483)4521へ

募集 八千代医療センター 運営協議会の市民委員

八千代医療センターの運営に市民及び地域の医療関係者などの意見を反映させるため、市民委員を募集します。応募書類は非公開、返却しません。報酬はありません。

▼資格 市内在住の成人で地域医療に関心があり、平日夜間の会議に出席できる人 ▼募集人数 2人 ▼任期 27年10月1日から2年間 ▼応募方法 次の書類を8月31日(月)必着で〒276-18524大和田新田477-196東京女子医科大学八千代医療センター業務管理課 ☎(450)6000へ郵送。①「私が考える地域医療」と題した400字程度の作文(様式は任意) ②住所、氏名、性別、生年月日、電話番号、職業を書いたA4の用紙 ▼選考方法 同センターにおいて作文などで選考 (健康福祉課)